

学習指導案

指導者 小野寺 誠

1. 日時・場所 平成25年9月17日(火) 2校時 電子機械科2年教室
2. 学級 電子機械科2年 男子26名 計26名
3. 教材教科書名 機械工作1 (実教出版)
4. 単元 溶接
5. 単元の目標
 - ・ガス溶接、ガス溶断を学ぶことにより、溶接ガスの性状やガス溶接装置の構造、危険性に関する基本的知識を理解し、安全に活用できる技術や知識を習得する。
 - ・アーク溶接を学ぶことにより、その原理や特徴を理解して安全に活用できる技術や知識を習得する。
 - ・各種溶接法の基本的使用方法や特徴を理解する。
6. 単元の指導計画
 - (1) 金属の結合と溶接 1時間
 - (2) ガス溶接とガス切断 2時間
 - (3) アーク溶接とアーク切断 4時間
 - (4) 抵抗溶接 2時間
 - (5) その他の接合法 2時間
 - (6) 溶接の計画と管理 2時間(本時2時間中の2時間目)
7. 本時の指導
 - (1) 目標 溶接作業における危険性について学ぶ。その中でも防じんマスクの取り扱いについて考えさせる。
 - (2) 資料 プリント
 - (3) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価の観点と評価方法
導入 5分	本時の目標を板書する。 今まで学んできた溶接・溶断方法を発言により確認する。	目標をプリントに書写する。 生徒は考え発表する。	目標を板書する。 溶接・溶断方法について発問する。	
展開 40分	今まで学んできた溶接・溶断方法にはどのような危険性があるか発表させ、板書する。 その危険を防止するためにはどのような方法があるか発表させ、板書する。	プリントに書写する。 プリントに書写する。	発表内容を板書する。 発表内容を板書する。	

	<p>その中で防じんマスクについて取り上げ、自分が事業者になったと仮定し、作業者に防じんマスクをつける場面についてグループ考えさせる。</p> <p>グループごとに発表させる。</p> <p>防じんマスクを使用しなければならない場面について確認させる。</p>	<p>作業者に防じんマスクをつける場面について個人で考え、グループで討論する。</p> <p>グループでの考えを発表する。</p> <p>防じんマスクを使用しなければならない場面について確認する。</p>	<p>5人のグループを編成してグループで討論させる。</p> <p>グループでの考えを発表させる。</p> <p>防じんマスクを使用しなければならない場面について確認させる。</p>	<p>「思考・判断・表現」 (学習活動の観察による)</p> <p>「関心・意欲・態度」 (課題プリントによる)</p>
<p>終結 5分</p>	<p>溶接・溶断作業における危険防止方法について確認する。防じんマスクの使用場面についても確認する。</p>	<p>溶接・溶断作業における危険防止方法について確認する。防じんマスクの使用場面についても確認する。</p>	<p>溶接・溶断作業における危険防止方法について確認する。防じんマスクの使用場面についても確認する。</p>	<p>「知識・理解」</p>